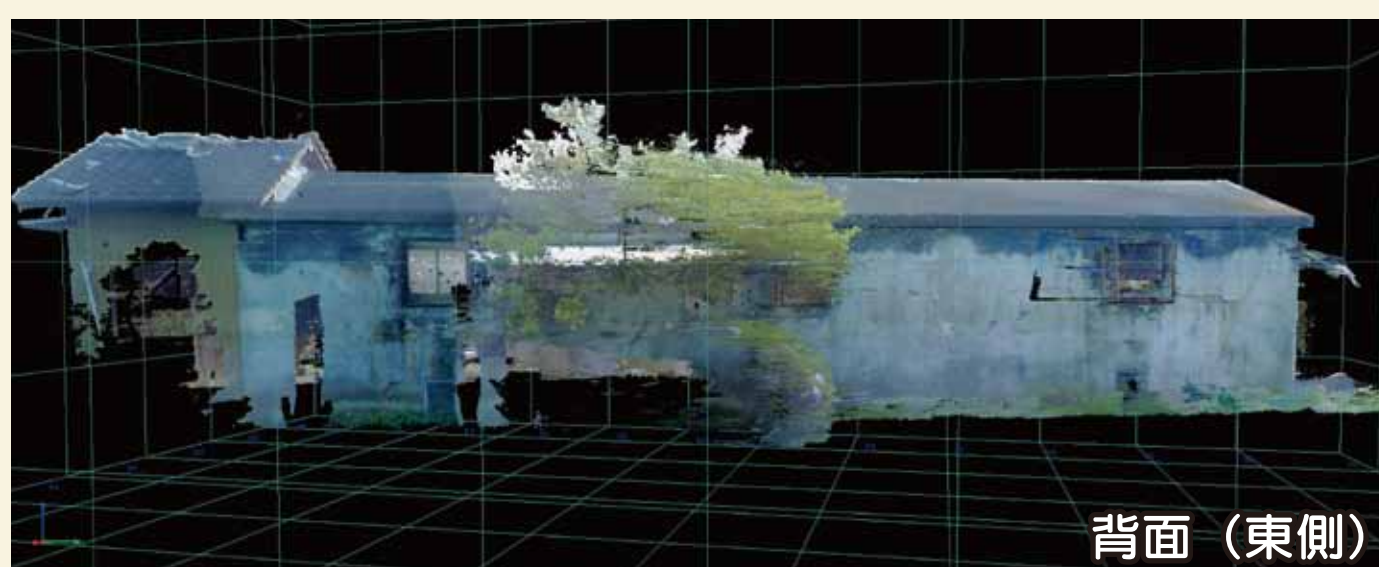
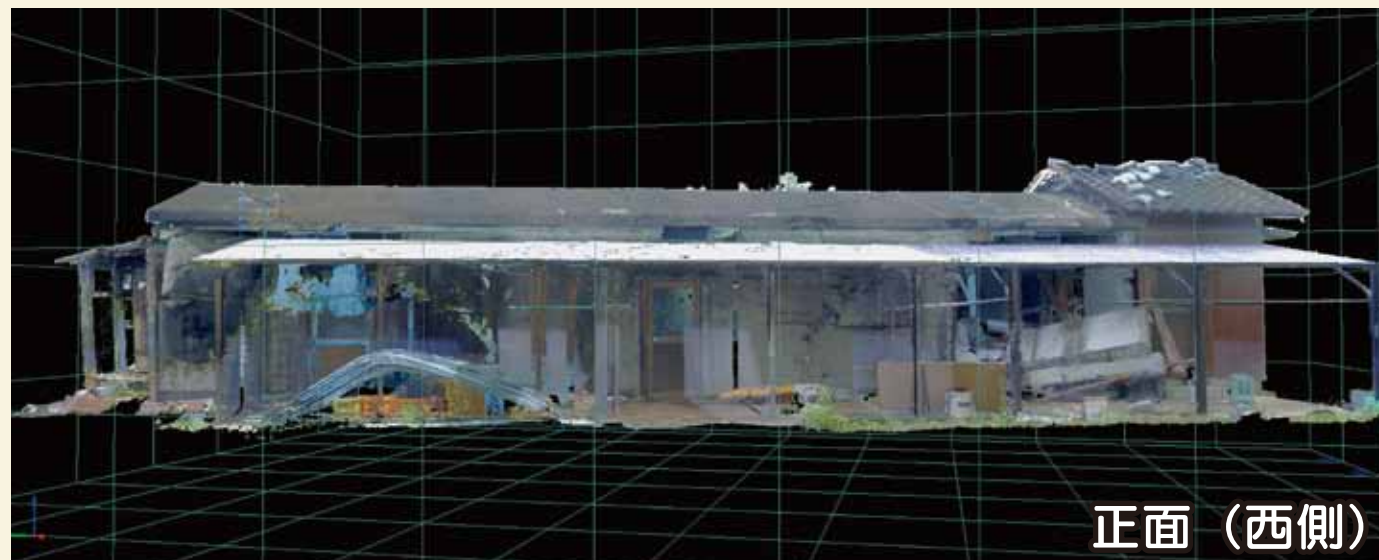


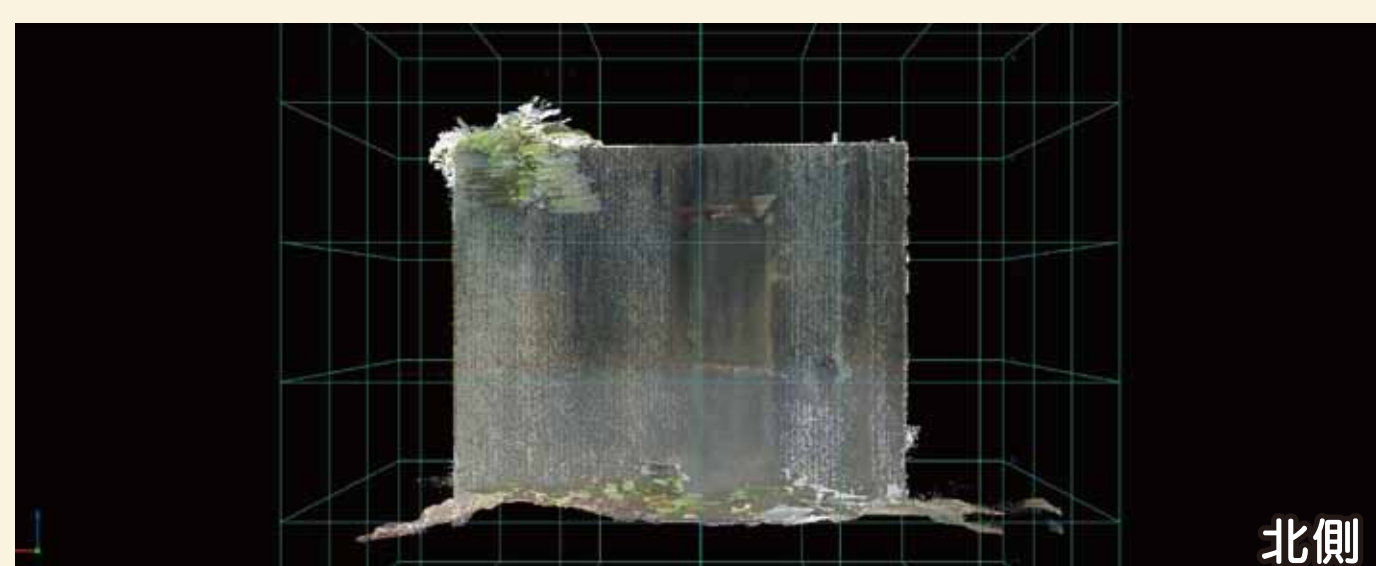
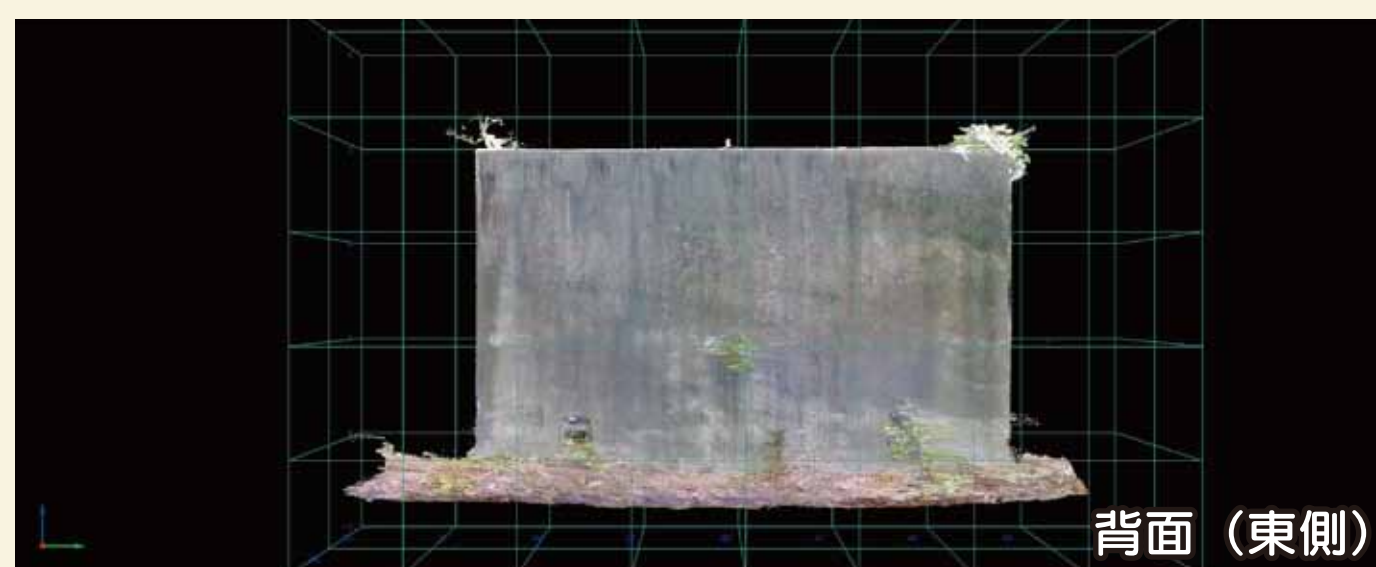
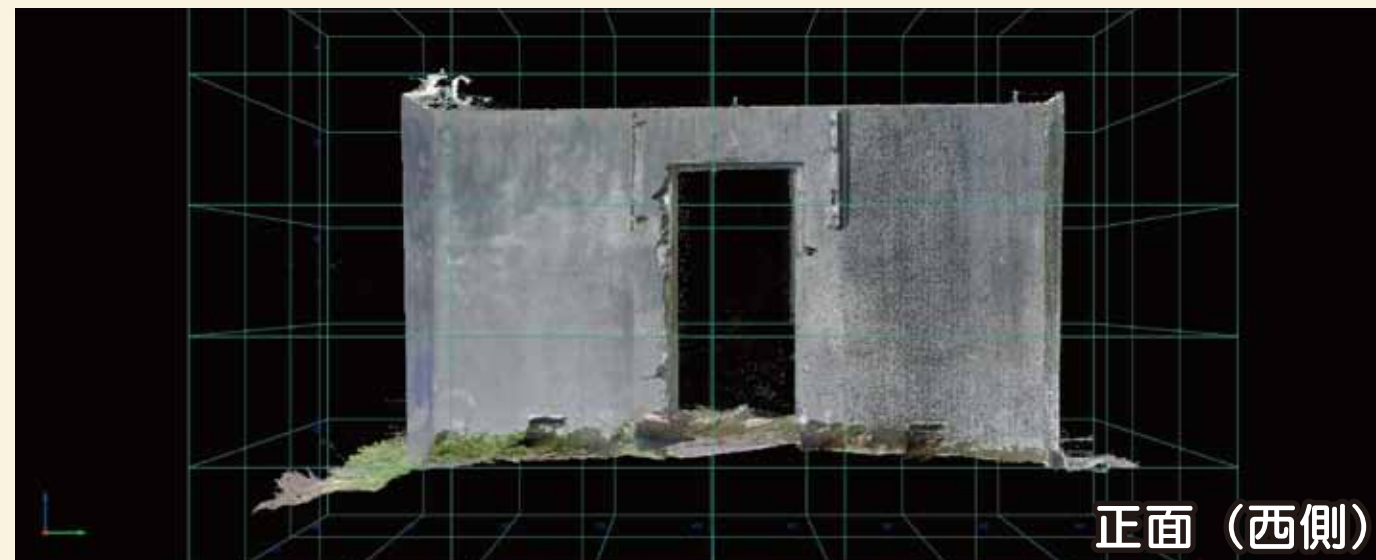
平成28年熊本地震による 「陸軍隈庄飛行場油倉庫・弾薬庫」の被災状況

実測図篇

油 倉 庫



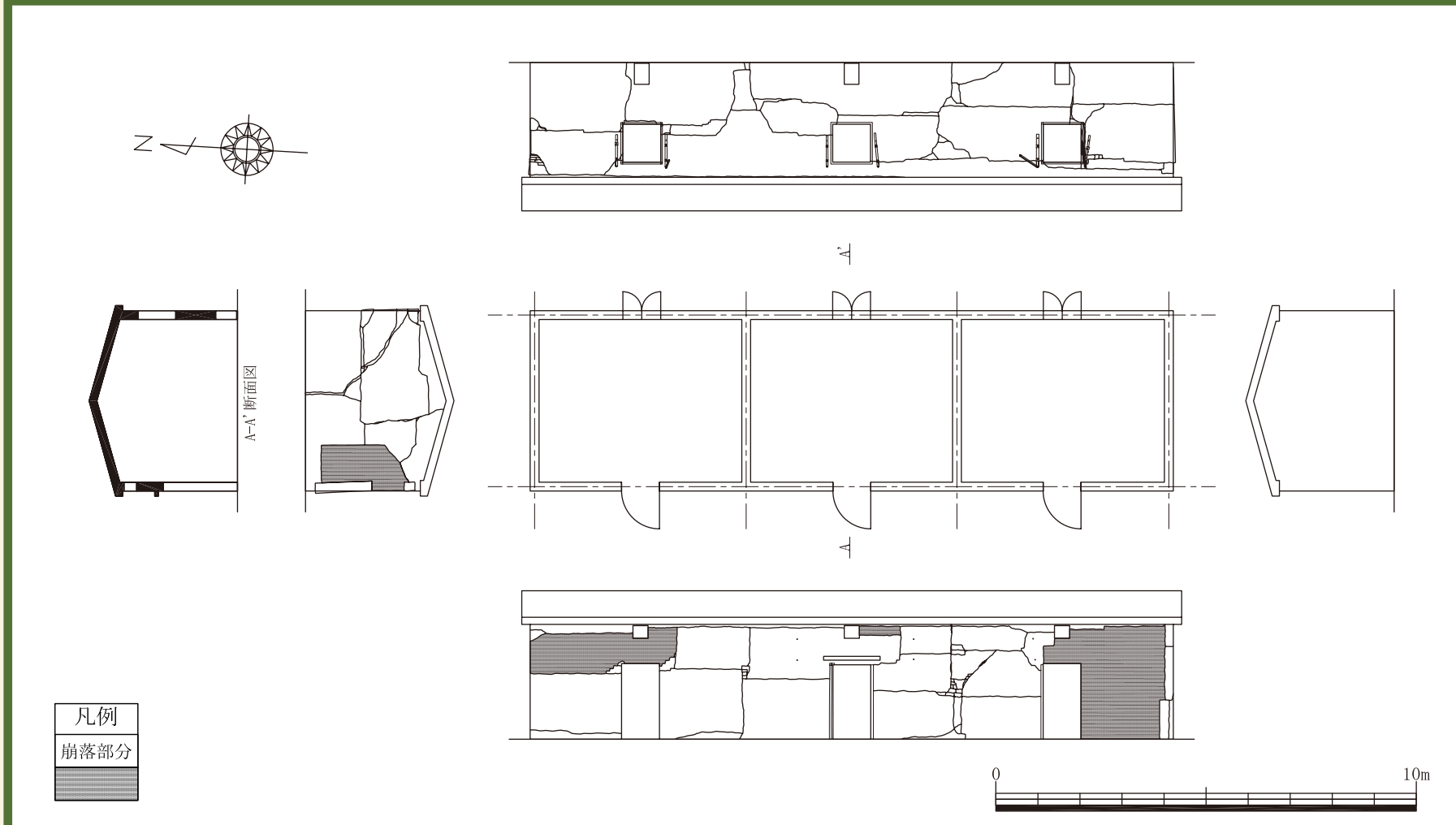
弾 薬 庫



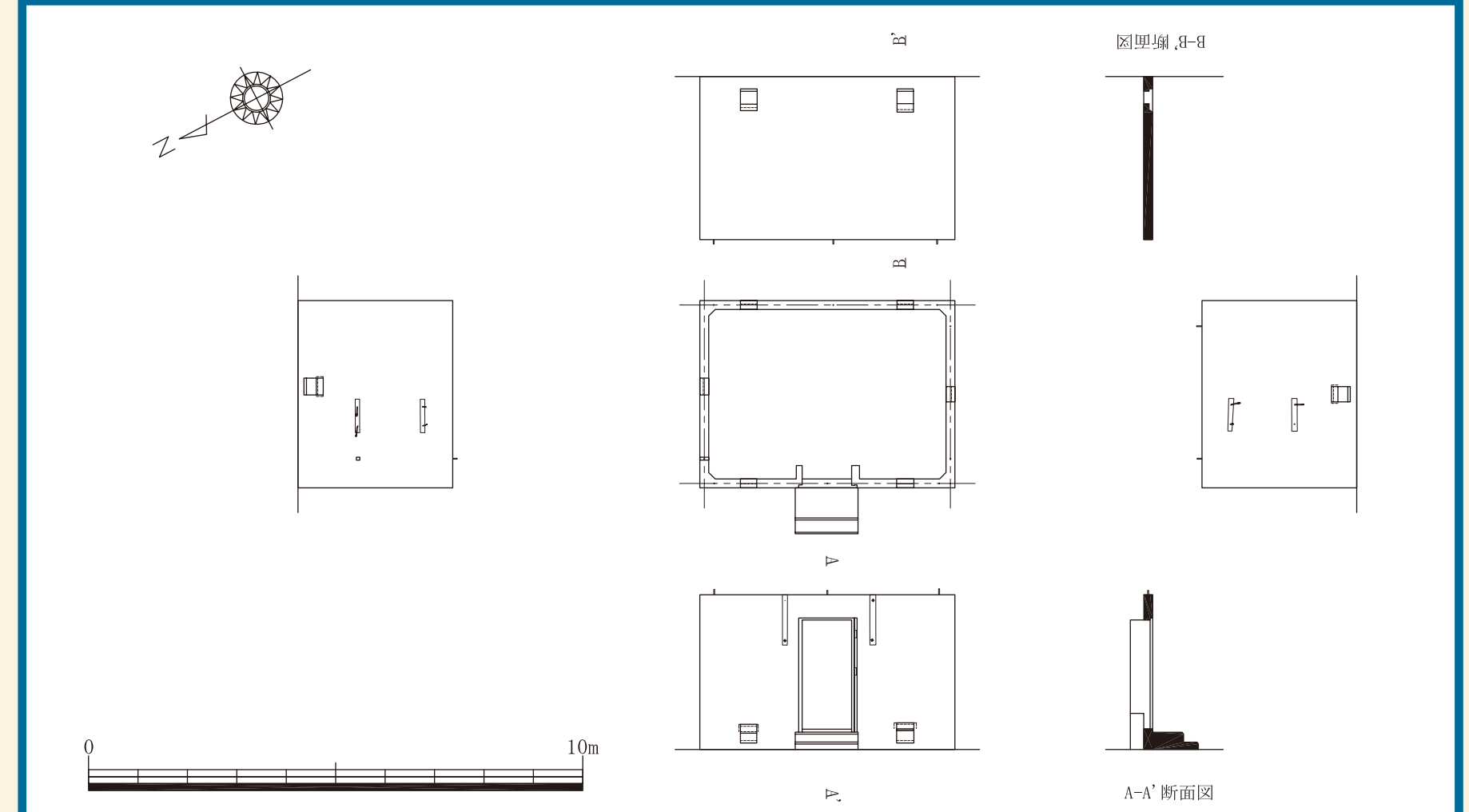
今回の熊本地震による両建物の被災状況を克明に記録するために最新式の3Dデジタル測量を行った。

座標を持ち1秒間に3万点を計測する点群データで、誤差は150m先で4mmの高精度とし、両建物の全周を計測した。これにより、3次元モデルでのリアルな画像で被災状況を記録し、両建物のデータ管理や保存が可能となった。

油倉庫被災状況図



弾薬庫被災状況図



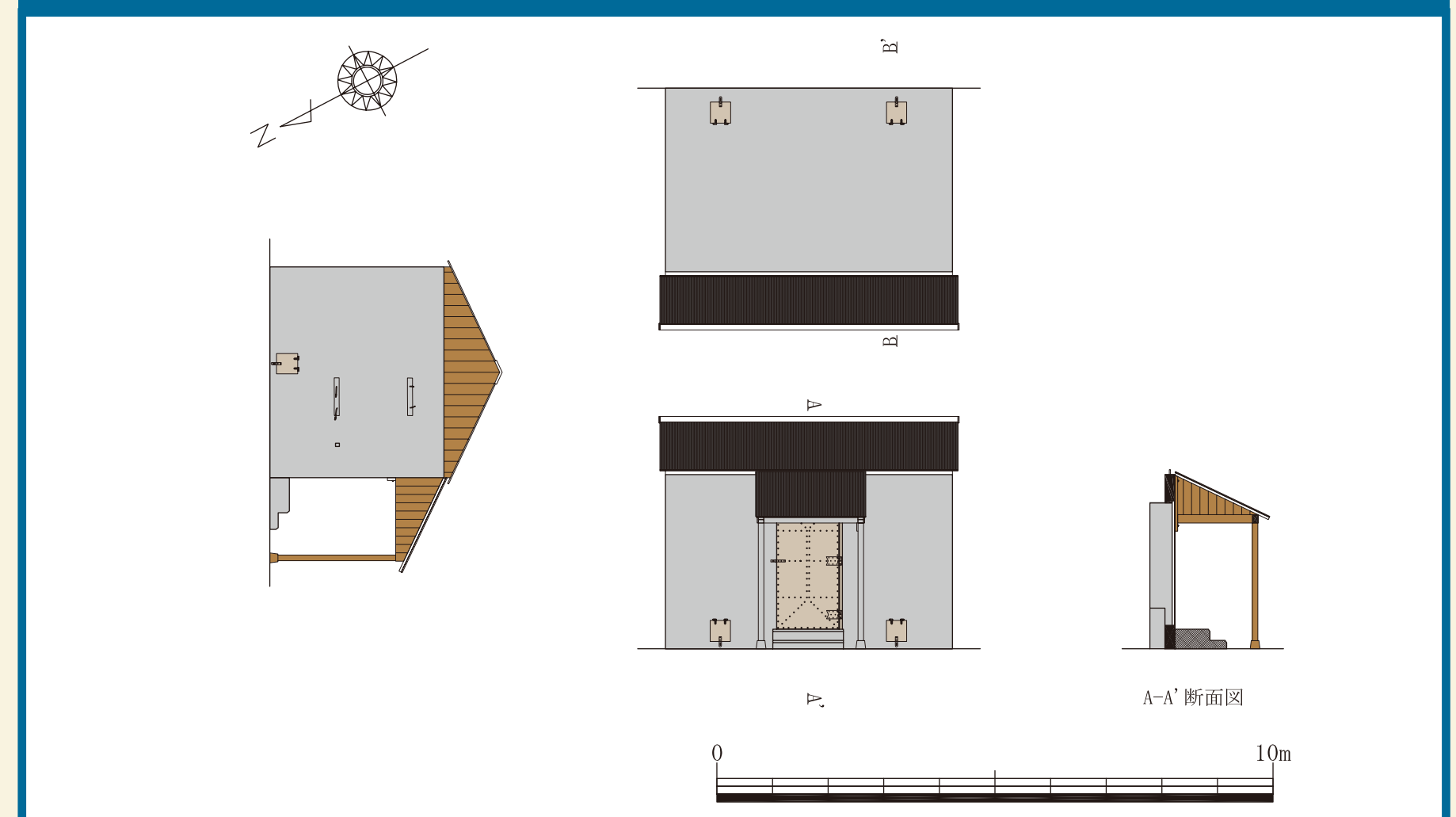
油倉庫復元図



油倉庫復元では、各部屋入口に現在も残されている片開きの鉄扉を付け、上部換気ガラリを復元した。

また、東側窓には残されている木質や金具から小型庇を復元した。

弾薬庫復元図



弾薬庫復元では、油倉庫と同様に鉄扉を正面につけ、下部の換気口には、菊池飛行場弾薬庫遺存資料の開閉式換気とした。屋根は証言等から軽量のトタン葺きとし、正面には荒尾二造遺存火薬庫の大型木製庇を設けた。